

# 大飯再稼働2カ月延期

## 関電 神鋼不正の安全確認

関西電力は三十日、来年一月中旬と三月中旬に計画していた大飯原発3、4号機（おおい町）の再稼働が二カ月ほど遅れると明らかにした。神戸製鋼所の製品データ改ざん問題の影響で、西原発の機器の健全性確認に時間を要しているため。＝関連②面

（尾嶋隆宏）

関電によると、神戸製鋼所の製品が西原発に使われていることから、再稼働前に機器の健全性を確かめる範囲が膨大になった。3号機は十一月末、4号機は来年一月初めに国の使用前検査の第一段階が終えら

れなくなり、原子炉起動のスケジュールも後ずれすることになった。3号機の燃料装荷は来年二月上旬、原子炉起動は三月中旬にずれ込む見通し。4号機は四月上旬に燃料装荷し、五月中旬の原子炉起

動を目指していく。神戸製鋼所に関する製品は、原子炉格納容器の鉄筋、一次冷却水の配管、燃料集合体など主要設備に多数使われていた。ボルト、溶接材が多いという。関電は十月二十四日から確認を

進めているが、十二月まではかかる見込み。この日、県庁で報道陣に應對した関電の森中郁雄・

### 九電の玄海も

九州電力は三十日、玄海原発3、4号機（佐賀県）の再稼働をそれぞれ二カ月延期すると発表した。神戸製鋼所の製品データ改ざん問題を受け、原発の関連機

原子力事業本部長代理は「溶接部が突出して多かった。（今のところ）不正品は使われていなかった」と説明。西川一誠知事が二十七日に西原発の再稼働に同意する前に、再稼働日程が遅れそうだと明らかにできなかったのか、と問われ「先週はまだ全体像がつかめなかった」と釈明した。

関電はこの日、原子力規制委員会に3、4号機の使用前検査の内容変更を申請した。神戸製鋼所に対して器に使われる部品の調査に時間がかかることが原因。玄海3、4号機の再稼働は当初予定の来年一月と三月から来年三月と五月にそれぞれ延期される。計画変更を三十日午後、原子力規制委員会に届け出た。

関電はこの日、原子力規制委員会に3、4号機の使用前検査の内容変更を申請した。神戸製鋼所に対して

器に使われる部品の調査に時間がかかることが原因。玄海3、4号機の再稼働は当初予定の来年一月と三月から来年三月と五月にそれぞれ延期される。計画変更を三十日午後、原子力規制委員会に届け出た。